

平成18年度に取り組む主な事業

新規事業、拡大事業、継続事業を中心に紹介します。(新)は新規事業、(拡)は拡大事業、(継)は継続事業を表しています。

協働で進めるまちづくり



市民の皆様と行政がそれぞれ担うべき役割に基づき、市民の自主的な活動を促進し、お互いの持てる力を出し合いながら、市民と行政の協働によるまちづくりを進めます。

そのため、市民が主体的に市政に参画できる仕組みを構築し、信頼関係をより深めていくため、情報公開を進め、市民への説明責任を果たします。

また、市民みんなの人権が尊重され、人と人とのふれあいを図り、明るく住みよい地域社会を築きます。

【主な事業】

■市民参画

- タウンミーティングの実施
- (新)交通バリアフリー基本構想策定 840万円

- (継)行政評価システムの導入 700万円
- (拡)京都南部都市広域行政圏推進協議会負担金 100万円
- 効果的かつ効率的な行政運営など
- 住民情報システムのホストコンピュータ等機器更新 1,588万円
- 男女共同参画
- (拡)女と男のいきいきフォーラムの開催 160万円
- (新)男女共同参画審議会の開催 29万円
- (新)男女共同参画プラン改定ワークショップの開催 4万円
- 人権・平和
- 平和と人権のつどいの開催 30万円

【主な事業の概要】

●交通バリアフリー基本構想の策定

JR向日町駅および阪急東向日駅・西向日駅を中心とする駅施設や周辺道路の段差解消、歩道拡幅など、交通バリアフリー化を一体的に進め、市民の皆様の移動の利便性、安全性の向上を図るため、策定に取り組みます。

●男女共同参画審議会の開催

男女共同参画推進条例に位置づけられた審議会で、男女共同参画プラン(基本計画)の改定のため開催します。

心の豊かさを育むまちづくり



児童・生徒の学力向上を図り、心豊かな子どもたちを育てるため、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進するとともに、不審者対策など、安全で快適な教育環境の整備を進めます。

また、市民の皆様の自発的な学習活動を支援するため、生涯学習機会の提供と学習に取り組める条件整備を図り、自己実現と自治意識の向上、人と人とのふれあいを深め、明るく住みよい地域社会づくりに努めます。

さらには、本市の貴重な財産である文化財の活用と整備に努めるとともに、生涯スポーツの普及と健康づくりを進めます。

【主な事業】

■生涯学習・社会教育

- (新)放課後児童サポートモデル事業 30万円
- (拡)子ども安全パトロール用帽子の購入 10万円

■学校教育

- (新)ネットランチャーの導入(小学校不審者対策) 24万円
- 学校施設の整備 小学校1,460万円 中学校2,650万円
- (拡)学力診断テストの実施(小学校3年生) 62万円
- (拡)学力診断テストの実施(中学校2年生) 62万円

■市民文化・文化財

- (新)朝堂院南面回廊地区および大極殿閣門前庭地区用地買上事業 2億4,344万円
- (新)図書館インターネット貸出予約
- (新)京都府立図書館インターネット取り寄せ申込みサービス
- (新)文化資料館企画展「向日神社」の開催 170万円

■スポーツ

- (新)市民体育館指定管理料 3,432万円

【主な事業の概要】

●放課後児童サポートモデル事業

児童の一斉集団下校を前提に、低学年児童を対象に下校時までの間、指導員の安全管理のもと、遊びを中心とした様々な体験活動をさせる取り組みで、児童の安全を守るとともに、遊びを通じて体力の向上とコミュニケーション能力の向上を図ります。

●史跡長岡宮跡史跡等買上事業

史跡指定される長岡宮跡朝堂院南面回廊地区および大極殿閣門前庭地区の一部を買い上げ、史跡公園として保存するため、用地を取得します。

健康で明るいまちづくり



少子・高齢社会にふさわしい、生きがいと心のふれあいが実感できる健康で明るいまちづくりを進め、健康都市を築きます。

また、高齢者や障害者の皆様が自立できる社会をめざし、社会参加を促進するユニバーサル社会(誰にとっても住みやすい社会)を推進します。

【主な事業】

■健康づくり・医療費

- (新)健康増進センターおよび市民温水プール指定管理料 3,236万円
- (新)(仮称)健康いきいきルーム設置 531万円
- (新)生活習慣病予防対策事業 8万円
- (拡)乳幼児医療費(平成18年10月から拡大)(外来:3歳未満→4歳未満、入院:就学前まで→小学校3年生まで) 5,660万円

■地域福祉

- (新)地域福祉計画推進委員会の開催
- (新)地域ふれあい推進事業
- (新)福祉会館指定管理料 2,085万円

■高齢者福祉

- (新)介護保険利用者負担軽減緊急対策事業 40万円

■児童・母子・父子福祉

- (新)病後児保育事業(平成18年7月から実施) 330万円
- (拡)児童手当支給対象年齢の拡大(小学校3年生まで→小学校6年生まで) 3億5,000万円
- (新)さくらキッズ保育園への委託
- 障害者福祉
- (新)精神障害者居宅生活支援費(グループホーム事業) 238万円
- (新)障害者自立支援法利用者負担軽減対策事業費 200万円
- (新)障害者基本計画策定 222万円
- (新)ゆめこうば支援事業補助金 100万円
- 勤労者福祉・生活保障
- (新)国民年金相談員設置 221万円

【主な事業の概要】

●(仮称)健康いきいきルーム設置

市民温水プールの会議室を改装して、介護予防、生活習慣病予防を目的とする教室の開催や、栄養・食生活指導などを行い、市民の生活全般を視野に入れた健康づくり支援施策の充実を図ります。

●病後児保育事業

保育所などに通所している児童が病後回復期にあるため、集団保育が困難で、かつ、保護者の勤務の都合、傷病、事故、入院などの社会的やむを得ない理由により、家庭で育児を行うことが困難な就学前の児童に対して、保育および看護を行います。(平成18年7月から予定)

●障害者基本計画の策定

今後の本市の障害者福祉施策の方向付けを行うため、向日市障害者基本計画策定委員会を設置し、平成9年度に策定した計画の見直しを行います。